

要 約

試 験 委 託 者 : 環境省

表 題 : 二硫化ジフェニルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳
障害試験

試 験 番 号 : A030425-2

試 験 方 法 :

- 1) 適用ガイドライン: OECD 化学品テストガイドライン No. 202「ミジンコ類, 急性遊泳
障害試験および繁殖試験」(1984年)
- 2) 暴 露 方 式 : 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換)
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供 試 生 物 : オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴 露 期 間 : 48時間
- 5) 試 験 濃 度 : 対照区, 助剤対照区,
(設定値) 0.00200, 0.00360, 0.00640, 0.0110, 0.0200 mg/L
公比: 1.8
助剤濃度一定: 100 μ L/L (ジメチルホルムアミド 使用)
- 6) 試 験 液 量 : 100 mL/容器
- 7) 連 数 : 4 容器/試験区
- 8) 供 試 生 物 数 : 20頭/試験区 (5頭/容器)
- 9) 試 験 温 度 : 20 \pm 1 $^{\circ}$ C
- 10) 照 明 : 室内光, 16時間明 (800 lux以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法 : 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

試験結果：

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合は、暴露開始時において 76～83%、換水前において 56～59%であった。減少の主な原因は、ミジンコへの吸着等が考えられた。

2) 24時間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
半数遊泳阻害濃度 (E1C50)	0.0111	0.00892 ～ 0.0159
0%阻害最高濃度	0.00439	—
100%阻害最低濃度	> 0.0135	—

3) 48時間暴露後の結果

	(mg/L)	95%信頼区間 (mg/L)
半数遊泳阻害濃度 (E1C50)	0.00851	0.00726 ～ 0.0102
0%阻害最高濃度	0.00439	—
100%阻害最低濃度	> 0.0135	—